

消 防 予 第 2 2 号  
令 和 3 年 1 月 28 日

一般財団法人  
日本消防設備安全センター理事長 殿

消 防 庁 予 防 課 長  
( 公 印 省 略 )

東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について

先般、愛知県名古屋市において、二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備（以下「二酸化炭素消火設備」という。）が誤操作により放出された事故を踏まえ、「二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」（令和2年12月23日付け消防予第410号（以下「410号通知」という。））により安全対策の再周知を図っていただいているところですが、今般、東京都港区において、二酸化炭素消火設備に係る消防設備点検資格者による点検実施中に二酸化炭素が放出され、死者2名、負傷者1名を出す事故が発生しました。

本事案の原因については、関係機関による調査が行われているところですが、類似の事案発生を防止するための当面の対応として、二酸化炭素消火設備に係る安全対策の再徹底について、各都道府県等に対し、別添1のとおり、通知しているところです。

貴センターにおかれましては、二酸化炭素消火設備の工事、整備及び点検を行う際の安全対策として、410号通知の内容のほか、別添1記1及び2に示す安全対策に留意し、各都道府県消防設備協会の会員事業者に対する再徹底及び各種講習受講者に対する周知を図っていただくようお願いいたします。

なお、このことについては、一般社団法人日本消火装置工業会及び公益社団法人立体駐車場工業会に対しても、別添2及び別添3のとおり通知していることを申し添えます。

消防庁予防課設備係  
担当：羽田野、山本、田中  
電話：03-5253-7523

消 防 予 第 2 2 号  
令 和 3 年 1 月 28 日

各都道府県消防防災主管部長 }  
東京消防庁・各指定都市消防長 } 殿

消 防 庁 予 防 課 長  
( 公 印 省 略 )

### 東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について

先般、愛知県名古屋市において、二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備（以下「二酸化炭素消火設備」という。）が誤操作により放出された事故を踏まえ、「二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」（令和2年12月23日付け消防予第410号（以下「410号通知」という。））により安全対策の再周知を図っていただいているところですが、今般、東京都港区において、二酸化炭素消火設備に係る消防設備点検資格者による点検実施中に二酸化炭素が放出され、死者2名、負傷者1名を出す事故が発生しました。

本事案の原因については、関係機関による調査が行われているところですが、類似の事案発生を防止するための当面の対応として、二酸化炭素消火設備に係る安全対策について、410号通知の内容のほか、下記の事項に留意し、建物関係者、消防設備士及び消防設備点検資格者への再徹底を図っていただくようお願いします。

各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県内の各市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、この旨周知していただけますようお願いいたします。

なお、このことについては、一般財団法人日本消防設備安全センター、一般社団法人日本消火装置工業会及び公益社団法人立体駐車場工業会に対し、それぞれ別添1、別添2及び別添3のとおり通知していることを申し添えます。

### 記

- 1 作業実施前に関係者全員に「ハロゲン化物消火設備・機器の使用抑制等について」（平成3年8月16日付け消防危第88号・消防予第161号）第3に定める安全対策及び「全域放出方式の二酸化炭素消火設備の安全対策ガイドラインについて」（平成9年8月19日付け消防予第133号・消防危第85号）別添のガイドライン（以下「ガイドライン等」という。）に定める内容を再徹底すること。

点検作業の実施にあたっては、これらの内容のほか、「消防用設備等の点検要領の全部改正について」（平成14年6月11日付け消防予第172号）の「第6 不活性

ガス消火設備」中に定める二酸化炭素消火設備の点検要領（以下単に「点検要領」という。）について熟知した者が作業を行うことを徹底すること。

2 ガイドライン等や点検要領については、消防法施行令第 16 条及び消防法施行規則第 19 条において定める技術基準に適合した二酸化炭素消火設備を想定した内容を規定しているところ、消防法施行令の一部を改正する政令（昭和 49 年政令 252 号）及び消防法施行規則の一部を改正する省令（昭和 49 年自治省令第 40 号）の施行前から設置されている二酸化炭素消火設備については、その仕様や機器構成等がガイドライン等や点検要領で想定するものと異なる可能性があることから、工事や整備、点検を実施する際には、消火設備メーカー等に次の事項を確認した上で、作業を実施すること。

- （1）作業開始前に措置すべき安全対策の内容
- （2）作業時及び作業実施後の復旧時に留意すべき安全対策の内容

消防庁予防課設備係

担当：羽田野、山本、田中

電話：03-5253-7523

消 防 予 第 2 2 号  
令 和 3 年 1 月 28 日

一般社団法人  
日本消火装置工業会会長 殿

消 防 庁 予 防 課 長  
( 公 印 省 略 )

東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について

先般、愛知県名古屋市において、二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備（以下「二酸化炭素消火設備」という。）が誤操作により放出された事故を踏まえ、「二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」（令和2年12月23日付け消防予第410号（以下「410号通知」という。））により安全対策の再周知を図っていただいているところですが、今般、東京都港区において、二酸化炭素消火設備に係る消防設備点検資格者による点検実施中に二酸化炭素が放出され、死者2名、負傷者1名を出す事故が発生しました。

本事案の原因については、関係機関による調査が行われているところですが、類似の事案発生を防止するための当面の対応として、二酸化炭素消火設備に係る安全対策の再徹底について、各都道府県等に対し、別添1のとおり、通知しているところです。

貴工業会におかれましては、二酸化炭素消火設備の工事、整備及び点検を行う際の安全対策として、410号通知の内容のほか、別添1記1及び2に示す安全対策に留意し、加盟各社に対する再徹底を図っていただくようお願いいたします。また、防火対象物関係者や点検事業者等からの別添1記2に係る問合せがあったときは、適切に対応いただくようお願いいたします。

なお、このことについては、別添2及び別添3のとおり、一般財団法人日本消防設備安全センター及び公益社団法人立体駐車場工業会に対しても通知しているところです。

消防庁予防課設備係

担当：羽田野、山本、田中

電話：03-5253-7523

消防予第22号  
令和3年1月28日

公益社団法人  
立体駐車場工業会会長 殿

消防庁予防課長  
(公印省略)

東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について

先般、愛知県名古屋市において、二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備(以下「二酸化炭素消火設備」という。)が誤操作により放出された事故を踏まえ、「二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」(令和2年12月23日付け消防予第410号(以下「410号通知」という。))により安全対策の再周知を図っていただいているところですが、今般、東京都港区において、二酸化炭素消火設備に係る消防設備点検資格者による点検実施中に二酸化炭素が放出され、死者2名、負傷者1名を出す事故が発生しました。

本事案の原因については、関係機関による調査が行われているところですが、類似の事案発生を防止するための当面の対応として、二酸化炭素消火設備に係る安全対策の再徹底について、各都道府県等に対し、別添1のとおり、通知しているところです。

貴工業会におかれましては、410号通知の内容のほか、別添1の内容について、加盟各社に対する周知を図っていただくようお願いいたします。

なお、このことについては、別添2及び別添3のとおり、一般財団法人日本消防設備安全センター及び一般社団法人日本消火装置工業会に対しても通知しているところです。

消防庁予防課設備係

担当：羽田野、山本、田中

電話：03-5253-7523